

自ら考え 挑戦し続ける子どもを育てます



～チャレンジ桜井～

令和8年9月30日 No.521



横浜市立桜井小学校



桜井小学校の
ホームページはこ
ちらからどうぞ



つながりの中で育つ子どもたち

校長 遠藤 清美

秋の長雨といいますが、今年の9月は特に雨の日が続きました。台風の接近に伴い横浜市一斉の臨時休校もありました。これから過ごしやすい季節へと移っていきませんが、夏の疲れが出てくる時期でもあります。神奈川県ではインフルエンザが大流行し、学級閉鎖の学校も出ています。手洗い・うがい・換気はもちろんのこと、バランスの良い食事や睡眠をしっかりとって、前期のまとめを迎えてほしいと思います。

10月8日（木）には桜井小学校45年目の記念セレモニーを開催します。運営委員会の児童が中心となって、お祝いのケーキを制作したり、各クラスでメッセージを書いたりして、桜井小学校をお祝いするムードが高まっています。PTAからは子どもたち全員にスポーツフェスティバルの参加賞を兼ねた素敵な記念品を用意してくださっています。当日お子さんに渡しますので、どうぞお楽しみにお待ちください。これからも保護者・地域・学校が一体となって桜井小学校の子どもたちを見守り、地域社会に貢献できる大人へと成長していくことを願っております。

さて、先日中野幼稚園の年長児から可愛らしいお手紙が届きました。園長先生からのお手紙も添えられていました。そこには「10月の運動会に向けて、日々さまざまな遊びや活動を楽しんでいく中で、子どもたちから『もっと広いところでやりたいね』『いっぱいの人に見に来てほしい』『じゃあ、学校を借りたらいいんじゃない？』という声が聞かれました。話が広がっていく中で、ある園児が「校長先生にお願いしてみよう」と、自分からお手紙を書き始めました。園児なりに自分の思いを言葉にし、それを誰かに伝えてみようとする姿から、『小学校』という場所が、子どもたちにとって少しずつ身近な存在になっていることを感じました。また、自分の思いを桜井小学校の校長先生に届けてみようと考えたことから、中野幼稚園と桜井小学校のつながりが強まっていることがうかがえます。」と書かれていました。これは幼小連携の成果の一つであると感じています。本校と中野幼稚園は栄区幼保小連携ブロックの中で、一園一校で連携しています。これから入学してくる年長児と1年生が交流したり、高学年も学習の中で園児と関わる活動を考えたりしています。年長児から小学校1年生の2年間で「架け橋期」とし、生涯にわたる学びや生活の基盤を作る重要な時期とされています。スタートカリキュラムや夏の合同教職員研修など、互いの教育活動を理解してスムーズな接続に努めています。

10月は前期が終わり、後期のスタートとなります。本日帰校する4年生の上郷宿泊体験学習を皮切りに、各学年の遠足や宿泊体験学習、校外学習が2月まで続いていきます。学校の中だけでは学ぶことができない体験をたくさんして、自分自身の成長の糧としてほしいと思います。